君待つと――万葉・古今・新古今 (2)

万葉集

A

春過ぎて夏来るらし※白たへの衣干したり天の※香具山

春が過ぎて、夏が来たらしい。真っ白な衣が干してあるよ。天の香具山に。

持統天皇

B

東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ

東の野にあけぼのの光がさすのが見えて、振り返って見ると月は西に傾いている。

柿本人麻呂

C

君待つと我が恋ひ居れば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く

あなたを待って私が恋しく思っていると、我が家の戸のすだれを動かして秋の風が吹く。

額田王

※白たへ…コウゾなどの木の皮から作られる白い布。

香具山…奈良県橿原市にある山。畝傍山・耳成山と合わせて大和三山という。

D

天地の　分かれし時ゆ　神さびて　高く貴き
（天と地が　神々しく）

※駿河なる　富士の高嶺を　天の原　振り放け見れば
（駿河にある　大空に　振り仰いで遠く見やると、）

渡る日の　影も隠らひ　照る月の　光も見えず
（（空を）渡る太陽の姿も隠れ、）

白雲も　い行きはばかり　時じくぞ　雪は降りける
（（山にはばまれて流れが）行きとどこおり、時季にかかわらずに雪は降っている。）

語り継ぎ　言ひ継ぎ行かむ　富士の高嶺は
（言い継いでいこう）

山部赤人

E

田子の浦ゆうち出でて見れば真白にぞ富士の高嶺に雪は降りける

田子の浦を通って出て（遠くに）見ると、なんと真っ白に富士の高嶺に雪が降っているよ。

※駿河…現在の静岡県中央部。

確認テスト 和歌を読んで、問いに答えなさい。

(1) Aの歌は句切れが二か所ある。それぞれ漢字で答えなさい。

［　　］句切れ・［　　］句切れ

(2) Bの歌でうたわれている光景の時間帯を選びなさい。

ア 明け方　イ 真昼　ウ 夕方　エ 夜中

［　　］

(3) Cの歌にうたわれている心情を選びなさい。

ア 恋しい人を待っているときの切ない思い。
イ 恋しい人が待っているのではないかとときめく思い。
ウ 恋しい人とともに人を待つときの退屈(たいくつ)な思い。

［　　］

(4) Dの歌について、――線部の意味を選びなさい。

ア 分かれた時に　イ 分かれた時から　ウ 分かれた時まで

［　　］

(5) Eの歌は、Dの長歌に添(そ)えられたものである。このような歌を何というか。適当なものを選びなさい。

ア 東歌(あずまうた)　イ 旋頭歌(せどうか)　ウ 反歌(はんか)

［　　］